

海外安全対策情報（令和８年度第１四半期）

１ 社会・治安情勢

- （１） パラナ州公安局発表の犯罪資料報告によると、パラナ州における２０２５年の殺人事件の発生件数は１，１８３件（前年比２７．０％減）、クリチバ市は１８５件（前年比６．９％増）。クリチバ市の人口１０万人あたりの殺人件数は１０．１件で、日本の０．７９件を大きく上回る。
- （２） パラナ州における２０２５年の麻薬（コカイン、クラック、オキシ、大麻等）の密輸・密売罪の検挙件数は、１３，９３４件（前年比４．１％増）、麻薬所持・使用罪の検挙件数は、１２，４２２件（前年比１２．９％減）であった。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- （１） クリチバ市及びその周辺都市においては、銀行、住居、店舗、レストラン等を狙った武装強盗のほか、車両強盗や長距離及び路線バスに対する強盗事件が昼夜問わず発生している。身の安全を確保するために強盗に巻き込まれた場合は、抵抗することなく犯人の要求に従うことが重要。
- （２） パラナ州は、コロンビア、ペルー、ボリビア等で生産された麻薬がパラグアイを経由して流入するルートとなっており、麻薬組織絡みの殺人事件が頻発している。人通りの少ない場所への立ち入りは避けるなど周辺の治安情報を事前に収集した上で慎重に行動することが望ましい。
- （３） クリチバ市内においては、銀行で現金を引き出した者を狙った強盗が頻発しているため、必要以上の現金を引き出さない等の注意が必要。

３ 犯罪事例（令和８年度第１四半期）

- （１） ２０２６年６月２２日昼過ぎ頃、クリチバ市バテウ地区（Batel）にあるショッピングモール「Shopping Crystal」内の宝石店で強盗事件が発生した。強盗犯は少なくとも２人で、宝石店に押し入り、警備員と女性従業員を人質にとり、多数の宝飾品を奪って逃走した。報道によると、逃走時、強盗犯は上方に向けて発砲したが、買い物客、通行人等の被害は確認されていない。